

「西日本あっちこっち横断フリープラン5日間」
～JR 西日本の「西なびグリーンパス(※)」利用の大冒険?!～

鴛海拓也

(※)「JR 西日本」全線の新幹線・特急・普通列車乗り放題5日間で、30,000円

(グリーン席8回利用可)に、宿泊4日間(広島、大阪、神戸、京都、富山、金沢)

を含めて55,000円。安い!また富山では、一人1泊3,000円のクーポン発行。

ちなみに「田川後藤寺～富山」の「グリーン席(片道)」は、31,650円。

さて、目指すは富山2日間。家内を、私が加入している「真酒の会」のお店に連れて行くのが最大の目的。このお店「真酒亭」には、一緒に行った事のある父が亡くなってから16年間(今年十七回忌)、ご無沙汰しています。ここのご主人(真酒の会の会長)は、まともなお酒(純米酒)を飲ませる店が無いとの事で脱サラして開いたのですが、よく考えれば自分が営業中は飲む事が出来ないとの事でした(涙)。

1日目(12月19日)京都泊(徒歩7.6km)

午前6時に出発。富山まではダイレクトだと乗車時間だけでも6時間なので、京都に1泊して行き損ねていた「大原」を散策。公共機関だとバスでの移動になるので、オプションで京都駅からレンタカーを借りる。なので、新幹線内での乾杯はお預け。大原では「三千院」、「勝林院」、「宝泉院」を拝観。郊外になるので、外国人は少ない。山沿いなので、凄く寒かった。夕食は、ホテルの地下の「京都タワーサンド(屋台形式)」。

2日目(12月20日) 富山泊(徒歩 6.7km)

9時にサンダーバードにて、金沢経由(乗り換え)で富山入り。到着は12時付近なので「立山そば」を食す。美味しくて体が温まる。ホテルに荷物を預けて、「富山ガラス美術館」、「富山市郷土博物館」を散策。残念ながら日本刀を展示している「秋水美術館」は休館であった。夕食は、「真酒亭」へ。ご主人に暖かく迎えられ、旅行の思い出に話が弾む。おまけに翌日の観光地の「高岡」の詳しい情報を頂く。エビスビールから始まり、富山の銘酒と料理を味わいながらあっと言う間の2時間が経過した。

3日目(12月21日) 富山泊(徒歩 11.4km)

9時に新幹線にて「新高岡」駅で降りて、JRの「高岡駅」を目指しながら富山県唯一の国宝と言われる「瑞龍寺(ずいりゅうじ)」へ徒歩で移動。昨日の情報では、高岡市伏木(ふしき)にある「勝興寺(しょうこうじ)」が今年の10月に新たに国宝指定されたとの事だ。そこまで足を伸ばしてついでに「雨晴海岸(あまはらしかいがん)」にて「立山連峰」を写真に収めたいと思っていたが、JR氷見線は1時間に1本なので時間的に余裕がなくて行く事が出来なかった。

午前中は土蔵作りの町の「山町筋」を経て、千本格子の家並みの「金屋町」を散策。

午後は「高岡市美術館」にある「藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー」へ。この町で生まれ育った作者の足跡を探りながら、数々の作品の誕生を知る事が出来た。夕食は富

山寿司の「海富山」にて地魚と地酒を堪能する。

4日目(12月22日) 京都泊(徒歩 8.5km)

今日は9時に乗っても京都着は12時を回るので、押し寿司弁当とビールを購入して乗車。到着後は、荷物をホテルに預けて「京都鉄道博物館」まで徒歩で移動。ここも初めての来館だった。本物の列車や蒸気機関車なども展示されており、旧駅舎の切符切りの木枠のボックスなどは郷愁を感じた。夕食のお店は特に決めていなくて、当日にお好み焼きの有名なお店「京ちゃばな」をネットにて予約。駅付近に2店舗あって、最初は違う店に行って焦った。ここは新感覚のお好み焼きが有名で、大根ステーキ、紋甲ゲソのバター醤油、ホルモン、焼き枝豆に続き、締めはトマトをふんだんに使ったオリジナルお好み焼き。美味しかった。最終日まで、食事に外れはなかった。良かった!

5日目(12月23日) 帰宅(徒歩 5.8km)

朝一で「三十三間堂」へ。ここも行き損ねた場所。中央の巨像を囲む左右千体の「千手観音立像」は凄い。また、日本一長い木造建築で南北に120mは一見の価値あり。

西日本各地での天候が大荒れの日だったが、小倉到着が10分遅れただけで無事に帰宅。一日遅れていれば、金沢～京都間の「サンダーバード」は雪の影響で運休になっていた。

(特別付録)「西ナビグリーンパス」って、何? → 「えっ?」の連発!!

グリーン車指定席(新幹線、特急)を事前に取りる為に、最寄りの JR 駅に向かう。

しかし、九州では「博多駅」と「小倉駅」でしか発券出来ないと言う。「えっ?」

丁度、福岡市内に行く用事があったので、「博多駅」で「ローカル線(日田彦山線: 別途)」を含めて計画通りの切符を入手。初日、「小倉駅」では「小倉~新大阪」「新大阪~京都」の切符を自動改札機に通すと、ゲートが開かずに止められる。「えっ?」駅員に切符を見せると「特急券を買わないとダメですよ」「えっ?」「ひょっとして、西ナビグリーンパスですか?」「はい」「他に旅行会社から送って来た切符を見せて」と言う事で、他に5日間通しの切符を一緒に通す必要があった。この後、改札口では駅員に確認作業が欠かせなかった。富山~高岡の「ローカル線」は見せるだけで良かった。「えっ?」

「可愛い子には旅をさせよ」は、「古い始めたおじさんには旅をさせよ」だと思った。

